所属	看護医療学部 看護学科	職位	教授	氏名(学位)	杉崎　一美　　博士（医学）
所属学会	日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本クリティカルケア看護学会、日本看護診断学会、日本看護学教育学会、日本産業看護学会、三重看護研究会				
専門領域	成人看護学／クリティカルケア看護				
研究テーマ	クリティカルケア看護・周手術期看護に関する研究 成人看護学領域における看護基礎教育とクリティカルシンキングに関する研究 勤労者の健康管理、就労支援に関する研究 皮膚と免疫学的メカニズムに関する研究				

Ⅰ　主な教育活動

教育実践上の主な実績

1　教育･内容の工夫（授業評価等を含む）	成人看護学概論、成人急性期援助論、成人慢性期援助論等において臨場感がイメージしやすく、より看護実践能力が培われるよう PP、DVD など視聴覚を活用した授業提供している。また授業の最後に Forms によるミニテスト、学習確認を行い、各学生の学びのレベルを授業毎に確認している。 成人看護学実習、統合実習において看護計画の立案・看護実践を重要視した実習展開を行っている。 大学院課程の共通科目として看護研究特論では、看護実践現場に活用できる質的研究方法について教授している。看護研究演習では研究計画書作成について総合的なアドバイスを行っている。専門科目として急性看護学特論（フィジカルアセスメント）では視聴覚教材や事例検討について教授している。また急性看護学実習において生命危機状態にある対象者に対する看護について院生とディスカッションを行い、学修を進めている。
2　作成した教科書、教材、参考書	看護師国家試験対策のための資料を作成している。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等	日本看護診断学会の交流セッションにおいて、「日本で活用できる看護診断を検討しよう」ファシリテーターとして参加した。 本学における学修支援に関する提案として学習支援センター設置の提案を発表した。大学におけるアクティブラーニングについて調査し本学の今後の取り組みの提案を発表した。 全学的な看護過程教育への取り組みについて調査し、本学の教育改革プランとして提案した。 人工肛門造設術を受けた患者に対するストーマケアの授業にチーム基盤型学習法（TBL）を試みについて日本看護教育学学会で発表した。
4　その他教育上特記すべき事項	四日市大学総合政策学部非常勤講師（からだとこころ）2019～2023 年 三重看護研究会査読委員 2022 年 日本産業衛生学会、東海地方会学会、特別講演　2022 年 「女性がん経験者の就労・就労継続の思いと包括的就労支援」

Ⅱ　主な研究活動

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文	統合失調患者･家族の安定した在宅療養の要因の明確化―ナラティブ･アプローチ面接と SCAT による分析から―	共著	2022 年 3 月	三重看護研究会誌 Vol5,No1	宮﨑徳子、杉崎一美 萩典子、中神克之 加藤睦美	11 頁 ～20 頁
学術論文	産業看護職と臨床看護職との治療と仕事の 両立支援における連携の仕組みづくり	共著	2023 年 3 月	日本産業看護学会誌 Vol10,No1	河野啓子、杉崎一美 後藤由紀、畑中三千代、加藤睦美、畑中純子、高田真澄、工藤安史	1 頁 ～10 頁
学術論文	治療を受けつつ就労を継続した乳がん患者の 就労に対する認識 ～自分らしい生き方に向った一事例～	共著	2025 年 3 月	看護実践学会誌 Vol36、No2	藤井夕香、杉崎一美 加藤睦美、清水　智子、宮﨑徳子	32 頁 ～40 頁

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
紀要	集中治療室に緊急入室した患者家族に対する熟練看護師による家族支援と臨床判断	共著	2020 年 3 月	四日市看護医療大学紀要 Vol3,No1	渡邊誠、杉崎一美	1 頁 ～9 頁
紀要	集中治療室における積極的治療継続の断念を告げられた代理意思決定をする家族への看護支援	共著	2020 年 3 月	四日市看護医療大学紀要 Vol3,No1	竹内昌代、杉崎一美	21 頁 ～31 頁

Ⅲ　主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
女性の乳がん経験者の就労継続の認識と支援の現状	共同	2021 年 12 月	第 41 回日本看護科学学会学術集会
女性の乳がん経験者の就労継続の認識と支援の現状 ―治療を受けながら就労継続した女性の 語りより―	共同	2022 年 5 月	第 4 回三重看護研究会学術集会
産業看護職と臨床看護職との連携の仕組みづくり	共同	2022 年 11 月	第 11 回日本産業看護学会学術集会
女性乳がん経験者の就労・就労継続の認識と支援の現状 ―がん発症から手術・後療法・社会復帰まで―	共同	2022 年 12 月	第 42 回日本看護科学学会学術集会
乳がん罹患後の就労に関する価値観の変遷　―新たな生き方につながった事例―	共同	2023 年 12 月	第 43 回日本看護科学学会学術集会
NEW VALUE GAINED BY BREAST CANCER SURVIVORS BY CONTINUING TO WORK	共同	2024 年 5 月	34th International Congress on Occupational Health
治療と仕事の両立支援における産業看護職と臨床看護職との連携方策の妥当性の検討	共同	2024 年 12 月	第 21 回日本ヘルスプロモーション学会、第 13 回日本産業看護学会　合同学術大会
Employment-Related Thoughts and Background of Female Breast Cancer Survivor	共同	2025 年 2 月	15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars

Ⅳ　社会における主な活動

活動期間	活動内容等
2022 年～	地域研究機構、医療看護交流センタープロジェクト「東海 3 県の病院におけるズームを用いた統計学セミナー」活動メンバー
2023 年	産業看護研究センター、出前講座「働く方への食事・栄養に関するセミナー」
2023 年～2024 年	三重県看護系大学防災協議会委員
2023 年～	みえメディカルバレー企画推進会委員
2023 年～	市立四日市病院地域医療支援委員会委員
2024 年～	四日市市地域保健運営協議会委員